

平成 2 9 年

第 4 回防府市議会定例会

一 般 質 問

1 2 月 5 日（5 人）

1 山田 耕治・2 今津 誠一・3 曾我 好則・4 宇多村 史朗
5 田中 健次

1 2 月 6 日（4 人）

6 牛見 航・7 高砂 朋子・8 河村 孝・9 久保 潤爾

1 2 月 7 日（4 人）

10 三原 昭治・11 清水 浩司・12 田中 敏靖・13 山本 久江

1 2 月 8 日（4 人）

14 石田 卓成・15 清水 力志・16 和田 敏明・17 山根 祐二

No.	1	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1 総合計画について		(1) 市長のマニフェストとの整合性は？ (2) 総合計画による進捗状況をどのように見えるようにしているのか？ (3) 計画に対する進捗状況と、職員評価はどうリンクしているのか？また、誰がどのように評価するのか？ (4) 部長級コミットメント制度を導入し、部長宣言をホームページに掲載しては？
2 防犯に対する市の考え方について		(1) 防府市における刑法犯件数の推移と「防犯まちづくり」に対する市の考えは？ (2) 市民の安全・安心な「防犯まちづくり」を推進するために、（仮称）「防府市防犯基本計画」を策定すべきと思うが如何か？ (3) 小・中学校の防犯カメラの推進状況は？ (4) 市の公用車ヘドライブレコーダーを設置し、防犯パトロールと職員の安全意識の向上を図っては？

No.	2	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1 ホウフ・ビズ（中小企業支援センター）の創設		地方創生の本丸は中小企業の振興との信念の基、その具体策として、既に括目すべき成果を上げているエフ・ビズをモデルとしたホウフ・ビズの創設こそ唯一、最短の道としてこれを提案している。 今回で6回目の提案となる。 10月27日、富士市の産業支援センターエフ・ビズを視察し、小出センター長から直々に話を伺った。 特に市が創設への懸念事項としている ①ホウフ・ビズに優れた人材を確保することが出来るか ②エフ・ビズ同様の成果を上げることが出来るか との点について確認した。 視察後、全国11個所の姉妹ビズに対しても人材と成果に関する調査を行ったが、人材も揃い成果も確実に上がっているとの結果を確認した。 これで確実に創設への懸念は払拭されたと思う。 早急に小出氏と面会し、ホウフ・ビズ創設の決断を。（信じる者は救われる）

No.	3	曾我 好則
質 問 事 項		要 旨
1	コンパクトなまちづくりに 向けた取組について	前回の一般質問において、「本市は立地適正化計画について具体的な取組を行っている３５７都市の１つ」との答弁であったが、今後、計画を策定すると言っておきながら、具体的な取組を行っているは矛盾がある。何故、市民や議会に説明もなく国に対して具体的な取組を行っているとされたのか。 また、今後、どのようなスケジュールでどのようなプロセスで取組を進めていく予定なのか伺う。
2	期日前投票について	年々増加傾向にある期日前投票について伺う。 ア 期日前投票の過去の人数と割合、今回の１人当りの平均待ち時間と最長時間、期日前投票で待たれた方々の経済損益について イ これまで講じてきた対策について ウ 投票所を増設した場合の初期投資と経費について エ 庁内のセキュリティーについて
3	新庁舎建設比較検討資料作成支援業務委託について	新庁舎建設候補地である「駅北公有地エリア」と「現庁舎敷地」の比較検討資料作成業務において、駅北公有地エリアへの移転を前提に庁舎建設基本構想・基本計画を策定した業者と随意契約したことについて伺う。 ア 随意契約理由について イ 工期の短縮、経費の節減等について

No.	4	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	スクミリンゴガイ（通称：ジャンボタニシ）の対策について	以前から防府市でも田植えの後の苗に被害を及ぼすスクミリンゴガイ（通称：ジャンボタニシ）が発生していると聞いているが、市として何か対策を講じているか。またその対策として農薬費用に係る補助金を創設しては、如何か。

No.	5	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1	市長の引退表明について	(1) 市長引退ならば、新年度予算は「通常予算」ではなく、新規事業等の政策的経費を除いた「骨格予算」とし、選挙後に新市長のもとで、政策的経費を補正予算として提出する「肉付予算」の形にすべきではないか。 (2) 村田副市長は、後継指名を受けて出馬するのであれば、副市長職を速やかに辞職すべきではないのか。
2	子どもの貧困対策の推進について	(1) 生活困窮世帯等への学習支援事業の拡大を検討すべきではないのか。 (2) 教育委員会と福祉関連機関との連携をどう進めているのか。 (3) 子どもの貧困対策推進計画を防府市も策定すべきではないのか。
3	部活動のあり方について	スポーツ庁の「運動部活動等に関する実態調査」で、5割を超える公立中学校の顧問教員が授業など校務多忙による悩みと、心身の疲労などを感じていることが明らかとなった。 部活動の活動日や活動時間、外部指導者の活用、部活動ガイドラインの策定など、部活動のあり方を抜本的に検討すべきではないか。

No.	6	牛見 航
質 問 事 項		要 旨
1 内需の最大化について		「防府市創業支援補助金」「空き店舗活用促進事業補助金」の進捗状況について
2 山頭火ふるさと館について		現在の利用状況について

No.	7	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1	今後の公民館の在り方について	(1) 今後のまちづくりの中で、地域核を作っていくためには、地域交流センターへの移行が必要では。 (2) 地域の防災拠点としての機能について ア 新築された向島公民館の機能は。 イ 計画されている小野公民館の特徴は。 (3) 今後の建築計画は。
2	公共的なトイレ環境向上のための取り組みについて	(1) 公共的なトイレ環境向上のために、誰もが気軽に気持ちよく使えるトイレを（仮称）「おもてなし・幸せますトイレ」として、広く周知を図ってはどうか。 (2) さらにトイレ環境向上のために、今後の取り組みを伺う。
3	徴収業務について	(1) 市税等コールセンター管理業務について ア 市税等の初期滞納者に対して電話での自主納付の呼びかけや支払い案内をすることが業務であるが、これまでの実績、効果は。 イ 今後の課題をどのように捉えているか。 (2) 納付がない場合の対応について ア 差し押さえの実態は。 イ 滞納者の背景には様々な生活上の理由がある。納付へのサポートとして各課・関係機関との連携が必要では。現状は。

No.	8	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
1	相談窓口の認知度を高めるための工夫・取組について	(1) 道路相談室の相談内容、対応状況について (2) 市政なんでも相談課の相談内容、対応状況について (3) 各相談窓口の運営方針・体制について
2	交通ボランティア等の活動支援について	(1) 交通安全協会、市交通安全推進員、みまもり隊などの交通ボランティア等の活動状況について (2) 交通ボランティア等への支援策について (3) 横断旗を用いた見守り活動への指導について

No.	9	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1 財政運営について		防府市の平成28年度決算の実質収支は約12億円の黒字となったが、実質単年度収支は約5億5千万円の赤字となり、3年連続での赤字計上となった。 また、10月に発表された中期財政計画においては、財政調整基金に関して厳しい見通しが示されている。 今後ますます厳しくなるであろう財政運営に対して、執行部はどのような方針で臨まれるのか伺う。

No.	10	三原 昭治	
質 問 事 項			要 旨
1 潮彩市場行きのシャトルバス運行について			防府駅みなとぐち発着のイオンタウン防府、潮彩市場行きのシャトルバスの運行目的、運行内容、運行状況は。
2 子どもたちが激増している周辺地域への公園、遊びの広場の設置について			昨年6月の一般質問で、周辺地域の住宅建設の激増によってベッドタウン化してきた右田や華城、中関地域では、これに伴い、子どもたちも激増しているが、一方で、子どもたちが遊べる公園や広場などがない現状を紹介し、子どもたちが、外で安全に安心して遊べる公園や広場の設置を求めた。 これに対し、「現状は把握している」とし、「今後検討する」との答弁だったが、どのような検討をしてきたのか。

No.	1 1	清水 浩司
質 問 事 項		要 旨
1	佐波川自転車道の整備について	(1) 佐波川自転車道を利用した市民のイベントを市民にPRしてはどうか。 (2) 山口秋吉台公園自転車道は整備を開始したと聞いているが、接続部分や路面の補修等の改修が必要と思うがいかがか。 (3) 自転車道は、一部が市道を利用しているが、両側の草刈りを定期的にする必要があると思うがいかがか。 (4) 自転車道は高校生の通学路にもなっており、LED照明の管理と伐採を定期的に行うべきと思うがいかがか。

No.	1 2	田中 敏靖
質 問 事 項		要 旨
1	道路行政について	(1) 市街化区域内の法定外公共物（農道・水路・堤塘）の管理・帰属について (2) 宅建業者廃業等に伴う道路等の帰属について (3) 建築基準法による道路セットバック部分の帰属について (4) 狭あい道路整備事業の現状と将来について
2	自治会に対する助成金について	自治会未加入者に対応する助成金制度はできないか。（特に外国人居住者に対して）

No.	13	山本 久江
質 問 事 項		要 旨
1 中小企業の振興について		(1) 市では、中小企業振興基本条例に基づき、基本計画を策定し、施策の推進が図られているが、本市における昨今の中小企業の現状と課題をどのように受け止めているか。
		(2) 中小企業振興資金融資制度の拡充について
		(3) 女性の活躍推進を一層図るための環境整備をすすめる中小企業に対する助成制度について
2 自然環境の保護について		(1) マイクロプラスチックによる海洋汚染が深刻な問題となっているが、プラスチックごみに対する市の対策について
		(2) 天然記念物及びその他の貴重な植物の保護対策の推進について

No.	1 4	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1	職員からの意見・提言について	(1) 過去５年間に消防職員委員会に出された意見の件数と内容、結果について主要なものを項目ごとに教えてください。 (2) 昨年１２月議会で市役所全体に意見や提言のしにくい萎縮した雰囲気があると指摘させて頂きましたが、その後に、どのような意見や提言が組織全体で何件ほど出されたのか。その中で、もしも改善されたものがあれば各部ごとに具体的に教えてください。
2	台湾嘉義市との国際交流、及び防府市所有の絵画「東台湾臨海道路」の返還について	(1) 防府市では来年、上山満之進翁の没後８０周年に併せて、この絵画の展覧会を開催する予定です。過去に福岡市との寄託契約に至った経緯を調べると様々な問題があり絵画の返還については政治的に解決するしか方法が無いのではないかと考えていますが、後継指名された村田副市長はこの問題についてどのように考えておられますか。 (2) 市長は今まで消極的でしたが、今後、村田副市長は嘉義市との自治体同士の国際交流を深めるつもりはありませんでしょうか。
3	今期限りでの引退を表明された松浦市長の政治姿勢について	(1) 森友学園の寄付金を松浦市長自ら一生懸命集めてしまったことに、道義的な責任を感じておられますか。 (2) 松浦市長が有名私立中学校に対して、脅迫ハガキとも受け取られかねないハガキを防府市長名で送付されたことについて、どなたから依頼されたのでしょうか。 (3) 松浦市長は「反日極左」という言葉を発せられていますが、反日極左とは、どのような人を指すのかを具体的に教えてください。 (4) 森友学園の寄付を募ってしまったり、防府市長名で脅迫ハガキとも受け取られかねないハガキを送ってしまった事の過ちを素直に認め、一日も早く相手方に対して謝罪をすべきだと思いますが、既に謝罪は済まされましたか。

No.	15	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1	横断歩道などの交通安全施設の整備について	(1) 横断歩道や一旦停止線を含めた区画線が消えかかっている道路が市内各地で見られるが、安全対策への定期的なチェックはどのようにされているのか。 (2) 横断歩道や一旦停止線を含めた区画線の補修が必要な場所が多くあるが、どのような対策を行うのか。 市の考えを問う。
2	児童生徒の問題行動について	(1) 本市における児童生徒の100人あたりの暴力行為の発生件数・いじめの認知件数・不登校児童生徒数の件数と、その推移は。 (2) それぞれの問題行動についての学校の対応は。
3	障害者福祉施設の管理運営について	(1) 行政経営改革における障害者福祉施設の管理運営の「見直し」の進捗状況は。 (2) 利用者サービスの向上のためには職員の職場環境の充実が必要不可欠と考えるが、市の見解を問う。

No.	16	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1	公共下水道事業の進捗状況について	(1) 公共下水道が拡大された地域の整備状況について (2) 計画年次どおりに事業完了できるのか。 (3) もし計画年次が延長となった場合の対応について
2	道路パトロールについて	(1) 道路パトロールの在り方について (2) 道路パトロールでの異常箇所発見数・通報件数、及び内容と対応件数、又、未対応箇所があればその理由について
3	病児・病後児保育事業の拡充について	(1) 現状と課題について (2) 今後の計画について

No.	17	山根 祐二
質問事項		要 旨
1	道路行政について	道路行政のうち、交通安全対策施設整備事業・市道維持補修事業に関する陳情・要望に対する近年の対応状況について伺う。
2	期日前投票について	(1) 入場券はがき裏面に宣誓書記入欄があるが、未記入で来場の方も多く、混雑の原因の一つであると考え。記入場所の確保や、事前の周知が必要だが、今後の対応はどう考えるか。 (2) 平成28年12月議会の私の質問への答弁で、今後投票管理システムの導入を考えており、他市の調査をするとのことであったが、システム導入までにある選挙への対応について、どのように取り組むのか。 (3) 投票管理システム導入についての現時点での計画を伺う。

